



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ガバナー月信

GOVERNOR'S

R.I. 第2760地区

MONTHLY LETTER 2011-2012



木陰（熱田神宮） 画 石原ミチオ

ガバナーメッセージ	2
R.I.ウェブサイト掲載記事ご紹介	3
ワイキキRC週報掲載記事ご紹介	3
新世代のための月間によせて	
新世代奉仕委員長 秋田敬治	4
インターアクト委員長 大河内圭一	5
RYLA委員長 谷山芳和	6
青少年交換委員長 岡田雅隆	7
地区ロータリー財団セミナー報告	8
会員増強セミナー報告	9
国際奉仕委員長会議報告	9
第22回インターアクト年次大会報告	10
インターアクトクラブ海外派遣研修報告	11
福島高校生オーストラリア派遣壮行会報告	11

広告	12
ハイライトよねやま 137 紹介	14
文庫通信 287号	14
会員数及び出席報告(平成23年7月末)	15

2011年9月1日発行

新世代のための月間 **9**月

ガバナーメッセージ



今月は『新世代のための月間』

2011年～2012年度R | 2760地区

ガバナー まつ松 まえ前 けん憲 すけ典

新世代奉仕とは、RYLAやローターアクトクラブおよびインターアクトクラブの奉仕プロジェクトなどの指導力養成活動を実施、またはロータリー青少年交換による世界理解の実現を通じて、青少年や若者によりもたらされる好ましい変化を認識するものであります。即ち将来の青少年指導者となるような養成が要望されております。

ロータリークラブでは、地域社会において種々の奉仕活動を行っていますが、次の時代を担う青少年への奉仕は、奉仕のうちでも最も重要視され、「新世代奉仕」として五大奉仕に加えられました。

われわれロータリアンは、青少年の心の中に他人への思いやり、すなわち「ロータリー精神」を培っていくことに多大の努力を払わねばなりません。現代の青少年の大多数は善良で明るく健康的であると思われませんが、ともすれば社会の豊かさの中で自由と享楽を求める精神の弱さが見受けられます。ロータリアンは、青少年の日常の悩みにも相談に乗り、ロータリー精神を育む行動を実践するよう努力することが大切であります。次の時代に大きな希望を託して青少年に対する育成に一層の力を注がねばなりません。「青少年とともに」「ロータリアンは青少年の模範」の二つの標語の実践をすべきであります。

次の時代を担う新世代諸君へ (ガバナーからのメッセージ)

人生の成功を目指すなら「成功の種」を心の中に撒くことであります。心の中にいかなる種を撒き、いかに工夫してそれを育てるか。これが人生成功の秘訣であります。成功するためには、明るく建設的な人生観、健康的な生活、そして努力の積み重ねが大事であります。知識は成功のための最大の武器となるのであります。

人生成功のポイントは、積極的な思考と自助努力であります。
 発展・豊かさ・成功には法則があります。

①光明的な生き方をする。これは成功する人間の出発点であります。明るい心、建設的な心、積極的な心、そういう心を持っていればこそ、人々は集まってくるのであります。

②魅力的な人間になることであります。魅力的な人間とは、人を惹きつけるようなそういう性格をもった人をいいます。他の人から尊敬をかちとることが出来る人であり、他の人から評判がよい人であり、

実力のある人 能力の高い人 よく努力する人 蓄積のある人 他の人をリードしていける人



- ③健康的であること、朗らかであること、人々との間に葛藤がないこと。
- ④自助努力の精神。どのような種を撒き、どのように育てるかによってそれぞれの人が手にする結果が違ってきます。
- ⑤これからの社会の傾向を見抜く力が必要であります。情報社会がより高度化してきます。時代の方角性、未来の傾向(トレンド)に敏感になることであります。すなわちこうした未来志向型の情報センサーを持っていることが必要であります。
- ⑥日々精進努力。「心の中に起きたもので、善なるものを伸ばし、悪なるものは切り捨てていく」という強い決意のもとに、日々精進することです。これが判断力と交渉力や説得力というものになって現れてきます。

成功する人間は、「成功する心の持ち方」に他ならないのであります。

RIウェブサイト掲載記事ご紹介

国際ロータリー・ニュース：2011年7月27日

すべてのクラブに財団への寄付を促すために 「ロータリー財団は私たちの一部です」

第2760地区の財団委員長である深谷友尋さんは、このメッセージを地区内すべてのロータリアンに伝え、「毎年あなたも100ドルを」を通じた寄付を奨励してきました。この努力が実を結び、2006年以来、地区内すべての82のクラブが、「毎年あなたも100ドルを」を通じ財団の年次プログラム基金に寄付を行いました。年次プログラム基金は財団のプログラムや世界中で展開するロータリーのプロジェクトの資金源となっています。

効果的なコミュニケーションが違いをもたらす

同地区は、セミナー、研修、ニュースレターで寄付を呼びかけ、財団や未来の夢計画、「毎年あなたも100ドルを」について説明してきました。深谷さんは、最も重要なのは、単に配布資料に頼るのではなく、直接顔を合わせ、メッセージを伝えることだと言います。



「ロータリー財団は私たちの一部です」というメッセージを地区内すべてのロータリアンに伝えた第2760地区財団委員長の深谷友尋さん

掲載アドレス http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews/News/Pages/110725_news_erey.aspx

ワイキキRC週報掲載記事ご紹介

WEEKLY REPORT: WEDNESDAY - August 03, 2011

Japanese Interact Clubs Visit. July 29

Kai-chi Ohkohchi of the Rotary Club of Ichinoyima North and Yoshiyuki Hotta of the Rotary Club of Nishio Kira along with three teachers, brought 25 Interact Students representing 15 Rotary Clubs in Japan for a visit to Hawaii. They were hosted by PP Gene Gelfo at the Rock Island Cafe with the help of Johanna Ward who brought five Interact students from La Pietra School, as well as our own PP Gayle Warshawsky and Ikko Tomita. Gayle played the ukulele as they were coming in, and then they sang our Welcome to Waikiki song, accompanied by the La Pietra Interactors. Each club representative from Japan presented their club banner, after which they broke up into groups and performed Japanese Cultural dances, The La Pietra girls also put on a show for the Japanese.

A special thanks to Johanna Ward for managing to get the La Pietra Interact club to attend, making the Japan visit so special. The girls later split up and sat with each group and had a ball!



Kei-chi Ohkohchi presenting a beautiful clock to PP Gene Gelfo in memory of their visit.



新世代のための月間によせて

新世代奉仕活動の基本に沿って実践を！ 課題解決は地区全体で取組もう！

地区新世代奉仕委員長・
地区ローターアクト委員長 **あき た けい じ**
秋 田 敬 治

過去3年間に亘り、我々地区新世代委員会では、82RCに出来るだけお邪魔して、例会での卓話などで「新世代活動の理念」の確認と浸透を図ってまいりました。

過去3年間の経緯を踏まえ本年度地区新世代奉仕委員会では「理念に基づき、活動の基本に沿って、実践をしていきたい」と考えております。

新世代奉仕に関わる従来からの活動、この地区・82RCでの実情・現実（実践活動）のどこが「活動の基本」と違うのか？「基本」とはいったい何か？その目的とは何か？

新世代のためのRI常設プログラムに取り組んでおられるRC毎に、「活動の基本についての勉強会」を実施して頂くようお願いをしたいと思います。

参考文献も沢山あります、専門家も沢山いらっしゃいますので、十二分に活用して新世代奉仕活動の足元をしっかりと固めて頂きたい！ 参考文献とは、「手続要覧」「ロータリー章典」「インターアクト要覧」「ローターアクト必携」「ロータリー青少年指導者養成プログラム指針」「青少年交換要覧」などです。

さて標準ロータリクラブ定款の第5条に「奉仕の第5部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて、青少年並びに若者にとって、好ましい変化がもたらされることを認識（目的と）するものである」と記載されました。

ロータリーで言う、新世代とは0歳から30歳までの青少年をさします。新世代のためのRI常設プログラムにはインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、青少年交換があります。これらは全て青少年たちの健全育成事業であります、どの事業も、その成果が現れるのは将来的で、事業結果も不透明であり、数値で計ることが難しい、成果が確認しにくい事業であります。

新世代奉仕関連委員会の各事業・各プログラムが、ロータリーの奉仕の精神に基づき、貴重なロータリアンの浄財（お金）を使い、ロータリアンが自らその活動に時間と情熱を注いでも、すぐにその成果を確認し、評価することは困難であります。

『未来へ向けて成果を託す・夢を追う』これが、青少年育成事業の理念であります。

事業の主催者たるロータリアンが、その事業の主旨、目的を理解せず、理念の確立がないまま、若者たちを指導すれば、若者たちは迷い、結果、目的意識の薄い未熟な事業となることは明らかであります。

国際ロータリーは、新世代奉仕関連のいかなる育成事業にも、ロータリアンが率先して、深く関わることを奨励しています。青少年育成事業の現場でのロータリアンは、常に教え、導き、示す、指導者としての理念と姿勢を堅持すべきであります。

新世代育成事業の目的をしっかりと認識して、彼等と共に、時間と空間を共有し、会話し、行動して、模範を示す必要があると思います。

地区の新世代奉仕関連の4委員会が取り組む青少年育成事業の実践プログラムについては、いくつかの課題を抱えております。例えば、地区内9ローターアクトクラブを支える地区ローターアクト委員会では、RACの会員減少「会員増強」と財政的な自立「資金確保」を課題として、提唱・協力RCへのアンケート調査の実施、RC・RAC地区協議会でのグループ討議等、地区委員会だけでなくRACや提唱RCも同じ土俵に立って現状を認識し、単年度では解決しないこのような課題解決に取り組もうとしております。

他の3つの新世代奉仕関連委員会も地区委員会の立場だけでなく、82RC各々の新世代奉仕活動の抱える課題について地区全体で共有し、戦略的中長期計画に沿って、課題解決に繋げていければと考えております。

今後とも、地区新世代奉仕関連の委員会活動に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



新世代のための月間によせて

おお こうち けい いち
インタラクティブ委員長 **大河内 圭一**

(IACの歴史)

1959-60年度のRI会長ハロルド・トーマスは、世界中の青少年が共に活動できるような組織を作ろうと、1960年5人のロータリアンからなる委員会を発足させました。

2年後の1962年RI理事会によりインタラクティブプログラムが宣言され、この年、理事会は初めてのIACの発足を認証しました。

世界最初のIACはアメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により10月28日に結成23人でスタートしたメルボルン高校IACです。その後、IACは次々と広がっていき、現在では世界各地で青少年が様々なインタラクティブ活動を通じ国際理解と親睦の輪を広げています。

日本最初のIACは、1963年6月27日に結成された宮城県の仙台育英学園高校IACです。当地区最初のIACは、1964年10月に結成された豊川高等学校IACです。

2011年9月現在、当地区には、15のインタラクティブクラブがあります。提唱ロータリークラブは、22クラブです。地区内インタラクティブクラブの生徒数は、310人です。

さて、今月は「新世代のための月間」です。

インタラクティブクラブ提唱ロータリークラブにおかれましては、この月間中に、第24回インタラクティブクラブ海外派遣研修帰国報告例会を行うクラブが多いのではないかと思います。生徒たちの帰国報告を是非聞いていただきたいと思います。

9月3日(土)新世代サミットを開催いたします。その中で、インタラクティブクラブの活動報告をいたします。未提唱クラブにおかれましても、ご参考になれば幸いに存じます。

(インタラクティブ要覧より抜粋)

インタラクティブは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。インタラクティブ・クラブは、支援や指導を与えるロータリー・クラブによって後援されます。

インタラクティブには、世界中の11,000以上のクラブに所属する250,000人以上の青少年会員がいます。インタラクティブは、ロータリーで急速に発展しているプログラムの一つです。

インタラクティブ・クラブは、運営面でも資金面でも自立し、学校あるいは地域社会を基盤として結成されています。

インタラクティブという名称は、「インターナショナル」(国際的)と「アクション」(行動)という2つの語が複合されてできた名称です。インタラクティブ・クラブは、120以上の国や地域に存在し、真の意味で国際的な現象となっています。

インタラクティブの世界的な青少年ネットワークは、社会奉仕と国際奉仕に懸命に取り組んでいます。その規模に関係なく、すべてのインタラクティブ・クラブ・プロジェクトは、世界中の地域社会に末永い影響をもたらしています。



新世代のための月間によせて

新世代のための月間に思うこと

RYLA委員長 ^{たに}谷 ^{やま}山 ^{よし}芳 ^{かず}和

青少年健全育成の理念の下、新世代主要事業のRYLAセミナーがごございます。

RYLAとは皆様周知のRotary Youth Leadership Awards(ロータリーユースリーダーシップアワード)の略称であり、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と日本では位置づけられています。

RYLAは特に幅広くロータリーファミリー以外にも門戸を開いて、地域で活躍できうる青年男女に指導者たる認識と知性を学んでいただける機会となっております。またロータリアンと青少年が触れ合える機会の1つとして新世代奉仕委員会のプログラムに指定されております。

このようにロータリー外の広い世界へ、ロータリーの奉仕活動や理念のありかたを直接示す最高の機会であります。

すべての青少年育成事業(RYLA含め)は、その成果の現れは将来的で事業結果も不透明であり、決して数値で計ることのできない事業であります。

新世代奉仕プログラムが、ロータリーの奉仕の精神に基づき、貴重なクラブ会員の浄財を使い、自らその活動に、いかほど心血を注いでも、速やかにその成果を識別することは困難であり、そうした現実を承知した上で、『未来へ向けて成果を託す』のが青少年健全育成事業であります。

また、RYLA委員会事業プログラムの恩恵を受けた、青少年達が、果たして将来どう成長していくのかも予測できないものであり、そして、その恩恵がどのように青少年達の将来に生かされていったのか、どのような影響を与えたのかも数値で計り知る余地もありません。

将来成長した彼等の姿に接し、ロータリー自らが何を感じ、何を思うか、自己判断が存在するのみであり、その全ての如何なる判断結果もロータリー自身が享受し、将来の奉仕事業の糧とすべきものであります。

われわれの奉仕理念とは、ロータリーの青少年健全育成プログラムを通して、将来の未知なる若者たちに、貴重な浄財を使ってでも、ロータリアン自らが奉仕の汗をかいてでも、青少年達に将来においてよき社会人となり、よき社会の指導者となり、よく地域文化の伝承を継承し地域に貢献する人材の育成を願う理念であり、同時に倫理観の高い人格者としてロータリーの奉仕の精神を継承し、各分野での奉仕のリーダーへと成長することを願い、期待を託しその実現に向けて、ロータリーの心血を注ぐ奉仕の実践の姿であり、行動する勇気と実行力の理念であります。

現代の青少年の現状を見ると、時間的に非常にゆとりがない現実がある。また、高校生ぐらいの年代で、大人として出会う人が親と学校や塾の先生しかいないという現状もある。子どもたちは、じっくり悩み、試行錯誤の過程を経てそれを解決するという経験を重ねることに欠けている。また、時間的、空間的ゆとりのないところで、心のゆとり、思いやりは生まれにくい。ゆとりのある中で様々な試行錯誤を経ながら、様々な人と触れ合い、スポーツ、芸術、ボランティアなど学校以外の様々な活動にも参加し、それが社会的に評価されるような社会にする必要がある時代ではないでしょうか。

我々ロータリーが少し手を貸し、青少年を理解しようとする行動が彼らに希望を与えるのではないのでしょうか？それができるのがRYLAセミナーであり、まさに新世代育成事業の理念そのものであります。

地区RYLAセミナーにつきましては3つの開催目標を掲げております。

1. ロータリアンが青少年を尊重し青少年に関心を抱いていることを知ってもらう。
2. 青少年にボランティアのリーダーになれるように気づかせサポートをする。
3. 青少年リーダーとして地域社会に尽くしている多数の青少年を公に表彰。

以上の目標を掲げ、地区RYLA委員会では14歳～30歳の青少年に地域のリーダーになって地域で活躍をしていただきたい望みがあります。

本年度地区RYLAセミナーは三河安城ロータリークラブのホストによって、2012年2月25-26日に20回目を岡崎市の愛知県青年の家にて開催いたします。

そこで我々地区RYLA委員会はホストクラブと共に実り多いセミナー創造に努めてまいります。



新世代のための月間によせて

おか だ まさ たか
青少年交換委員長 岡 田 雅 隆

本年度、地区青少年交換委員長の重責を拝命いたしました。会員の皆様には1年間大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、地区青少年交換委員会は、毎年ほぼ1年間の委員会での活動の流れが決まっております。それには理由があり、毎年7,000名ほどの学生が、世界各国からこのプログラムにて、留学をしています。毎年世界各国の青少年交換委員が時期を同じくして、統一された書類を使い、統一されたルールの中で、世界各国の青少年交換プログラムが同時進行にて行われるRIの特別なプログラムの1つであり、RIの推奨事業でもあります。このプログラムの目的は留学を手段とし、青少年の健全育成を主眼にした継続プログラムであります。当初は基本的にクラブ対クラブのプログラムでしたが、現在は地区対地区での交換学生プログラムとして、世界的に展開されています。

当2760地区では1968年から昨年度まで、愛知からの派遣学生が382名、海外から愛知への受入が379名と毎年確実に実績を積み重ねてまいりました。

ところが、本年3月11日東日本大震災から端を発し、東電福島第1原発の放射能漏れを契機として、日本全国34地区での交換留学プログラムが一変しました。

当時180名弱の外国人留学生が、日本34地区内で留学をしていましたが、大半の学生が即刻帰国してまいりました。2760地区にも6名いた留学生たちは、事故後1週間ほどで帰国してまいりました。その後、フィンランドからの学生が1名戻り、名古屋名駅クラブのホストのもとで、残り少ない日本での留學生活を送ってくれました。

今年は8月に愛知から海外に派遣した学生が3名、受け入れ4名をおこないますが、3月末にカナダから「愛知からの学生の受け入れは行うが、カナダからの派遣はキャンセルする」と連絡が入り、ONE WAYの留学になってしまいました。またほかの相手国である、フランス・フィンランド・アメリカからもなかなか来日の連絡がなく、7月になっても来るか来ないかがはっきりせず、ホストを務めていただく一宮クラブ、東知多クラブ、高浜クラブの皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。

また2760地区として被災地救助活動の1つとして、ガバナーの了解を得て、群馬2840地区が危険地域に属しており、群馬に来る予定であった学生を北海道地区、九州地区、大阪地区、そして愛知で受け入れを実施し、当地区にはアメリカからの学生を犬山クラブにてホストしていただきました。

8月6日(土)に次年度に向けての第1回目の留学を希望する学生の選考試験を行い、7名の候補生を選抜しました。本年度はもう1度、10月1日(土)にも選考試験を行い、2回合わせて10名以上の留学プログラムを実施する予定です。

現在、日本国として安全が確保されていない状況下であり、交換相手国から見れば危険な国である日本に学生を送り出してくれるかは疑問ではありますが、当委員会としては、1名でも多くの交換留学を行えるように努力し、派遣した愛知の学生たちが、派遣国にて、日本の現状を正確に伝えてくれ、受け入れて来た海外の学生たちが日本を自身で見、肌で感じてくれること、これだけでもこのプログラムは成功であると考えます。将来に向けて、国際親善に寄与してくれるであろう青少年たちの育成の橋渡しのための委員会として、本年度も進めてまいります。青少年交換委員会への応援、ご協力をお願いします。

2011～2012年度地区ロータリー財団セミナー報告



ロータリー財団委員長
ふか や とも ひろ
深 谷 友 尋



ロータリー財団は試験的プログラム(パイロット地区)による試行が開始されて2年目を迎えました。

本セミナーの目的はロータリー財団のプログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を円滑に遂行し、世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援する事です。また、3月11日に発生しました、東日本大震災支援活動についても今後の支援について松前ガバナーより方針が示されました。

本セミナーには松前憲典ガバナー、恒久基金日本委員野村重彦パスト・ガバナー、ZCC・財団カウンセラー江崎柳節パスト・ガバナー、千田毅ガバナー・エレクト、田中正規ガバナー・ノミニ、8分区ガバナー補佐、5大奉仕委員会プラス委員会の委員長始め、82クラブの会長・幹事・ロータリー財団委員長268名の参加を頂き、人道的・教育的活動について研鑽を深める事が出来ました。

本年度も特別講師にRRFC(regional Rotary Foundation coordinator)川尻政輝氏(東京世田谷RC)をお招きし、「未来の夢計画」と題してご講演を頂きました。

休憩を挟んでZCC・地区財団カウンセラー江崎柳節パスト・ガバナーより「END POLIO NOW」と題して、ポリオの活動の重要性と世界への子どもたちへの約束についてご報告を頂きました。

今年度のセミナーの特徴はすでに田嶋ガバナー年度よりスタート致しました、新プログラムによる活動事例発表をしていただきました。

名古屋昭和RC上野広さんより「夢のカプセル2025」子どもたちの思い出をカプセルに託し青少年活動を発表。ポリオ・プラス大西和夫委員長より「2010年～11年度インド・ポリオ活動参加」をワクチン投与活動を通じて子どもたちへの予防支援の大切さなどを発表、職業研修チームリーダー大野良之さんよりアメリカ、ヒューストンメディカルセンター「職業研修チーム帰国報告」をそれぞれ発表していただき、今後の奉仕活動に役立てて頂きました。

各委員会からそれぞれの本年度重点目標を説明し、正午より17時30分まで長時間に亘り、熱心にロータリー財団活動に於ける意義と理想の研鑽を深める事が出来ました。

尚、本年度11月は財団月間であり、各クラブへの卓話を御願ひ申し上げ閉会しました。

最後にセミナー開催にあたり、地区ロータリー財団委員会の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。





2011～12年度 第2回会員増強セミナー報告

日時：2011年7月30日(土) 15:00～17:00 場所：名鉄ニューグランドホテル

地区内各クラブから会長・幹事・会員増強委員長220名余、地区役員からガバナー・地区幹事・ガバナー補佐・地区副幹事・地区会員増強リーダーの出席の下、『会員増強とクラブ活性化』をテーマに開催されました。

小山慎介地区会員増強委員長は、配布した全国の地区会員増強委員長セミナー資料の活用、地区委員会テーマ「全クラブに女性会員の入会」「会員数3%純増」の達成へのご協力をお願いされました。続く伊藤秀雄会員増強リーダーは、皆がロータリークラブへ入って良かったと言われるような「明るく楽しい例会」を目指し、会員増強・退会防止に全力投球してください！と挨拶、その後各ガバナー補佐より現状報告と今年度の増員目標が発表されました。さらに各分区内の増強優秀クラブからの事例発表後、活発な質疑応答が行われ、松前憲典ガバナーから「会員増強と出席率で日本一をめざしております。楽しいクラブ・魅力ある運営を積極的に取り入れ、5000名越えを達成したいと思います。少人数のディスカッション形式のロータリーリーダーシップ研究会を作り、誰とでも意見交換しながら勉強してまいりたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。」との総評があり、長谷川地区幹事の挨拶で幕を閉じました。



ガバナー補佐から発表された各分区の今年度の増員目標

分 区	ガバナー補佐	目 標	分 区	ガバナー補佐	目 標
南尾張	山口 誠 一	13名	東名古屋	大口 弘 和	40名
西尾張	加藤 勉	17名	東三河	岩瀬 淳一郎	26名
東尾張	河村 金 明	24名	西三河中	横山 眞 久	18名
西名古屋	三浦 和 人	26名	西三河	細井 英 治	18名

第2760地区会員増強委員会 津田 鎮輔

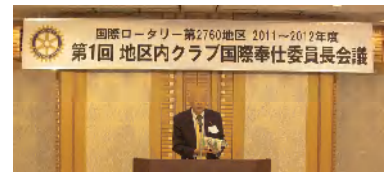
2011～12年度 第1回地区内国際奉仕委員長会議報告

去る7月22日、名鉄グランドホテル内にて第1回地区内国際奉仕委員長会議を開催致しました。

地区国際奉仕委員長 **佐藤 文昭**

地区テーマを松前ガバナーよりいただきまして、

- ①会員増強
 - イ. 退会防止
 - ロ. 女性会員、若手会員の増強
 - ハ. 30名以下のクラブの増強
 - ニ. クラブ会員の多様性
- ②クラブの活性化
 - イ. 社会貢献をする
 - ロ. ゆったりとおおらかに生きる



地区テーマにそって国際奉仕では概念上四つの一般的分野に分類できる奉仕の活動

1. 世界社会奉仕プログラム
2. 国際的教育と文化交流活動
3. 特別な国際デーや国際週間、月間と催し
4. 国際的な会合

今年度の奉仕活動を立案実施することとなります。

2010～2011年度の各クラブの、WCS活動の報告書と地区WCS活動の報告書の配布により、各クラブがいかに多くの活動をしているかを知ることができます。

実のある継続的な奉仕活動の報告でした。

識字率向上委員会では、2012年3月の識字率向上月間では、多くのクラブに訪問して卓話を実施したいとの事です。

識字率に対して各クラブの理解をお願いするものであります。

又、今年度は、国際交流を行いたいという願いで、2011年12月10日・11日にタイ3360地区の地区大会(チェンマイにて開催される)に参加して、同時に第18回日泰愛知奨学金基金の引渡式を同時に行いたいと思っています。各クラブの国際奉仕委員長はもちろん、ビジター参加で(ゴルフ・観光等も用意しますので)会員の増強につながれば幸いです。

又、2012年5月にタイ・バンコクにて世界大会にも多くの会員参加を募りたいと思います。

2010～2011年度のニューオリンズ大会の日本人朝食会の席上で来年度はタイに日本人が5000人参加するように呼びかけておられました。

今年度は、各クラブの意見や疑問点、活動報告を7つのグループに分かれてグループディスカッションを約1時間位行いました。

国際交流をされているクラブの方々には、貴重な参考意見(例 他国のクラブとのコンタクト・言葉の問題・又メンバーの中に他国に自社の子会社・支社・工場があるということで活動ができる等)を頂くことができたと思います。

地区で募集する奉仕活動の参加希望者も多くおられることがわかりました。

各クラブの事務局にいつも情報を流していますので、もっと強くフォローするように努めていきたいと思っています。

今日のディスカッションの内容は今後まとめて又、報告書と提出したいと思っています。

皆様の参加協力どうもありがとうございました。

第22回インターアクトクラブ年次大会報告



インターアクト委員長
お oughi kei ichi
大河内 圭一

第22回インターアクトクラブ年次大会が、安城ロータリークラブと安城学園高等学校をホストとして、7月18日(月)海の日に安城市文化センターで立派に開催されました。

地区内15のインターアクトクラブと松前憲典ガバナーはじめ地区内ロータリアンも含め約500名の参加を頂き、盛大に大会を実施することが出来ました。安城ロータリークラブと安城学園高等学校は、開催ホスト役として並々ならぬ努力を払われたことを皆様にご報告申し上げます。

安城学園高等学校インターアクトクラブ会長伊藤千紘さんの点鐘に始まり、安城ロータリークラブ杵名俊裕会長の歓迎の挨拶、松前憲典ガバナーの挨拶と続きました。

松前ガバナーの挨拶の中で、インターアクトの趣旨と概念を頂戴し、また「インターアクトクラブの歌」を直々に熱唱され、会場全体が手拍子で包まれ、会場全体が一体となりましたことに感動を覚えています。

さて、今回は、安城学園高等学校インターアクトクラブが、「子どもの笑顔と未来のために」～日常の活動を参加者全員で発表・共有しよう！～をテーマに地区内15校のインターアクトクラブが、全員ステージに上がり、会場に向かって直接メッセージを送りました。

地区内各インターアクトクラブ活動の共有化をし、大変な成果を上げたのではないかと思います。

また、昼食会においては、「プチ・デザートバイキング」を行い、他校のクラブ員との交流の場を設け、新しい発見や知り合いを広める場になったのではないかと思います。

「共有と交流」を実践し、インターアクトクラブの生徒たちは、充実した一日を過ごせたのではないかと思います。

各インターアクトクラブのメッセージを各クラブ、そこに所属する各会員は、いろいろな感じ方をしたと思います。一つの会場で2760地区内のインターアクトクラブの活動報告ができたことに大変な意義がありました。



第22回インターアクトクラブ年次大会は、今までにない新しい試みであり、各インターアクトクラブは、様々な思いで取り組んだものと思われます。

この一日を振り返り、真に意義ある年次大会となりましたことをもって報告とさせていただきます。

次年度第23回インターアクトクラブ年次大会は、一宮ロータリークラブ、尾西ロータリークラブ、一宮北ロータリークラブ、一宮中央ロータリークラブの4つが提唱する修文女子高等学校インターアクトクラブがホストを務めます。アイブラザ一宮にて開催する予定です。

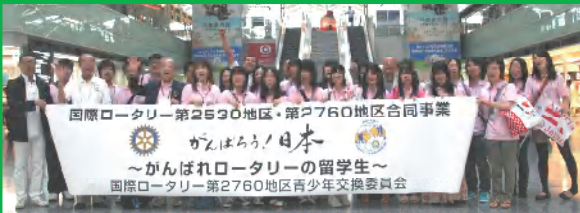
インターアクトクラブ海外派遣研修報告 2011年7月27日(水)～8月1日(月)



訪問先ハワイでの生徒たちの表情



福島高校生オーストラリア派遣壮行会報告



第2760地区青少年交換委員長 おか だ まさ たか 岡田雅隆

2011年3月11日に発生した東日本大震災。それに起因した福島原発事故の被害地区である第2530地区の特に相馬市近辺の高校生たちを勇気づけるために約1カ月弱、オーストラリアの政府および日本国外務省の全面協力の下、オーストラリアのロータリーからの招待で短期留学をさせる話しが持ち上がりました。このプロジェクトでは、ルフトハンザ航空にも多大な協力をいただき、21名の高校生と、引率として3名のロータリアン、2名の

ROTEX(青少年交換の帰国生)とともに、8月2日に愛知のセントレアから出発しました。それに先立って、豊田を冠する5ロータリークラブ(豊田・豊田西・豊田東・豊田三好・豊田中)の協賛で当地区青少年交換委員会が壮行会を開催いたしました。

朝6時に福島県相馬市を出発したバスは約10時間かけて豊田市のホテルに到着、夕方からの壮行会に参加しました。参加者は豊田市の鈴木市長、D. 2530から大橋PDG、福山国際奉仕委員長、渡辺青少年交換委員長をはじめとした引率者を含めて26名、東京北クラブから1名(RIJYEC委員)、当2760地区からは松前ガバナー、齋藤PDG、田嶋PDG、長谷川地区幹事、藤井元地区幹事を含めて45名、総勢72名の参加を得て行われました。

まず東日本大震災で亡くなられた方々への黙祷から始まり、秋田新世代奉仕委員長の開会宣言、松前ガバナー、D. 2530PDG、豊田市長の挨拶に続き、今回のプロジェクトの趣旨説明を当地区齋藤PDG(NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会(RIJYEC)理事長を兼務)からしていただき、D. 2530福山国際奉仕委員長からの引率者代表挨拶のあと、学生たちへの記念品贈呈(青少年交換委員会とRYLA委員会から)、お小遣いとして豊田RCからの金一封を豊田クラブ会長から贈呈がありました。

福島の高校生の代表挨拶に続いて懇親会に入り、D. 2530渡辺青少年交換委員長から、スライドを映しながらの経緯の説明を受け、学生代表からオーストラリアへの短期留学の力強い意気込みを聞かされました。和気あいあいとした、とても素晴らしい懇親会であったことを報告しておきます。

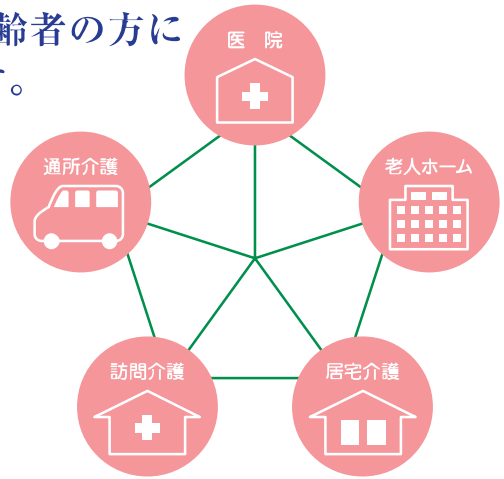
翌2日は5時45分にモーニングコールの後6時半集合、セントレアに向かいました。前日の10時間のバスツアーでの疲れもものともせず、一人も集合時間に遅れなかったことも付け加えておきます。

8時にセントレア着。到着時点から中京テレビの取材が行われ、学生たちへの激励の意味も含めて、当日中京テレビニュースで放映されたことも付け加えておきます。スムーズに全員無事チェックインを済ませ、9時半に出発ゲートから出国手続きをするために元気にゲートをくぐっていきました。

8月21日の帰国まで学生たちはそれぞれのオーストラリアの家庭でホストされ、オーストラリアの生活を満喫するものと確信しています。ロータリーの青少年交換(長短期留学ともに)はそれぞれの国との間で国際理解と国際親善の役を果たす、親善大使として位置づけられています。短期留学といえども、オーストラリアのロータリアンの温かい奉仕の心に直接接して、これからの復興の大きな力を育んでくると期待しています。

最後に、豊田の5ロータリークラブと、学生たちのために送迎バスを出していただいたトヨタ自動車様およびお土産などとともに奉仕の心で対応していただいた方々へのお礼を申し上げたいと思います。

愛礼会グループとして、地域の介護の必要な高齢者の方に
トータル的な医療と介護サービスを提供します。



- 松前内科医院
- まつまえ介護支援ステーション
- 住宅型有料老人ホーム花みず苑
- 小規模多機能ホーム花梨
- 小規模多機能ホーム金木屋
- 団樂の家あさの
- 団樂の家はざわら
- 介護付有料老人ホームさくら苑
- 松前歯科医院
- まつまえ訪問看護ステーション
- グループホーム木蓮
- 団樂の家ゆきおろし
- 団樂の家あさのながしま
- デイサービスセンターさくら



医療法人 愛礼会

松前内科医院 〒491-0871 一宮市浅野字居森野75-1
院長 松前 裕己 TEL 0586-81-7001 (医療) 0586-82-7111 (介護)

松前歯科医院 〒491-0851 一宮市大江2-9-11
院長 松前 憲典 TEL 0586-72-2123

活力みなぎる街へ。

名古屋市中区 名興中駒ビル (旧日本興業銀行ビル) 中駒産業が取得!

貸店舗事務所

●愛知県知事免許 宅地建物取引業(4) 第17433号 ●愛知県知事許可 建設業(建築工務) 第50033号 ●愛知県知事許可 第一種建築事務所(1) 第9833号

貸主 **中駒産業(株)** 本社/名古屋市中村区大岡四丁目2番7号中駒ビル (名古屋駅徒歩6分) ☎(052)451-8111 (代)

semui 支えつづける。あんしんを届ける。医療・福祉の「セムイ学園」

東海歯科医療専門学校 (藤が丘) 歯科技工士
東海医療工学専門学校 (みよし) 救急救命士
東海医療科学専門学校 (名古屋) 臨床工学技士, 視能訓練士, 理学療法士, 作業療法士, 柔道整復師, 言語聴覚士
東海医療福祉専門学校 (みよし) 社会福祉士, 精神保健福祉士

【問・資料請求】 入学サポートセンター (名古屋市中村区名駅南2-7-2) ☎ 0120-294552 mail: info@semui.jp

地域医療への貢献 精神科・神経科・内科・外科・眼科 皮膚科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・歯科

医療法人香流会 絃仁病院

理事長 重富 亮
院長 内藤 明久

※正・准看護師 募集中
〒463-8530
名古屋市中村区四軒家一丁目710番地
TEL(052)771-2151
FAX(052)772-5781
URL <http://www.Koujin-hospital.jp>

全件一括へ▶▶

独自のサプライチェーンマネジメントで、顧客価値の最大化を実現します。

MORIRINのサプライチェーンマネジメント(SCM)が実現するのは、お客様の収益力を向上させるビジネスモデルの構築。お客様のビジネスを熟知した多様な「人のネットワーク」を中核に、店舗・仕店の発注と国内外に展開する生産・物流ネットワークを、全体最適の視点で運営することにより、他社の追随を許さない圧倒的な市場優位性と収益性という、顧客価値の最大化を実現します。

MORIRIN株式会社
小倉〒1491-8910 一宮市大井4-22-10 TEL 0586(25)2281
東京支店〒103-0004 東京都中央区新富1-2-1 TEL 03(2883)3311
名古屋支店 〒460-0379 名古屋市中村区大岡4-2-1 TEL 052(21)16700
大阪支店 〒550-0001 大阪府西区土佐1-3-7 豊能ビル3F TEL 06(6441)8581
海外事業所/上海・香港・大連 他

モリリンSCMは、お客様のニーズを把握し、そのために、それぞれの機能を統合し、オーダーメイド、コストパフォーマンスの面で、圧倒的な市場優位性を確保するためのソリューションです。

自社の得意先・顧客に、最適なソリューションを提供する。 仕入先メーカーに代わって、提供するシステムインテグレーション。 生産チームを組織して製造した、衣料をモデルビルに入庫する専門部社。 当社が企画製造した衣料を、小売店に供給するモデルメーカー。



1841年、初代豊島半七が「綿屋半七」という屋号で繊維問屋を起したのが、豊島の始まりです。以来、百七十年の歴史の中で、時代の変化に応じて事業領域を拡充し、現在では原料・原糸から最終製品まで、総合的に取り扱う繊維商社として発展を遂げることができました。伝統から変革・発展へ。これからも、変化の激しいマーケットを冷静に捉え、そのニーズに熱意をもってチャレンジしつづけることが、私たちの使命だと考えます。



情熱。

▲ 豊島株式会社

本 店 一宮市せんい2丁目5番11号 0586-76-7561
 名古屋本社 名古屋市中区錦2丁目15番15号 052-204-7711
 東京本社 東京都中央区日本橋富沢町9番10号 03-3661-1070
 浜松支店 浜松市中区砂山町335番地4 053-454-4131

総合建築・鉄骨工事・リース建物

名古屋建商株式会社

代表取締役 千 田 毅

営業所 名古屋市千種区今池南29番23号
 TEL (052) 7 3 3 - 0 6 6 6 (代)

工 場 小牧市藤島字居屋敷24
 TEL (0568) 7 7 - 7 5 3 8

生涯を通じて美味しく食べよう！

健康は口から
 歯を大切に

森 歯科医院

森 榮

まごころと笑顔 やすらぎと癒しをお届けしております
 パーティー・ウェディング・イベント・セレモニー等の司会者・人材の派遣・企画運営

(株)日本バンケットプロモーション

厚生労働大臣許可 (般23-02-0483)

国際ロータリー第2760地区
 2011-2012年度 地区RCC委員会
 委員長 松崎 美都子
 名古屋守山ロータリークラブ所属

〒450-0002
 名古屋市中村区名駅3-9-13
 TEL052-562-1311 FAX052-562-1312
 E-mail info@nbpro.co.jp

人材派遣業

株式会社 プラスワン

代表取締役 加 藤 恭 章

〒491-0354 愛知県一宮市萩原町朝宮744番地
 TEL (0586) 6 8 - 5 3 1 4
 FAX (0586) 6 9 - 5 9 9 0

一般・業務用パン製造販売
 愛知県学校給食パン・米飯委託工場

株式会社 東海パン

代表取締役 長谷川 正 己

〒491-0005 愛知県一宮市西大海道字宅美8番地
 電話(0586) 7 7 - 3 2 3 0



ハイライトよねやま 137

1. 寄付金速報 — 2011-12 年度最初の寄付金は… —

2011-12年度最初の月である7月の寄付金は約1億8,000万円でした。前年度に比べて8.9%減、約1,800万円の減少です。

2. 来春採用の奨学生募集がスタート

2012年4月採用の新奨学生募集が始まりました。各地区米山記念奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で474校(前年度442校)、被推薦者数は1,559人(同1,643人)です。この中から地区の選考を経て、新規奨学生約600人が選ばれます。

3. ホームカミング制度で学友を招待しませんか？

ホームカミング制度は、元米山奨学生(学友)の里帰り制度です。活躍する米山学友を各地区で毎年1人招待し、地区大会等で現在の活躍を披露していただきます。

4. 台湾学友会による日本人支援奨学金の第3期生決定

台湾米山学友会が恩返しとして始めた「日本人若手研究者奨学金」は3年目を迎え、今年は採用数を年間1人から2人に増員して募集しました。当会ホームページを通じた公募に5人の応募があり、このたび合格者2人(工藤夕奈さん・加藤有花さん)が決定しました。

5. 台北南山RCが500万円の義援金贈呈

ハイライトよねやま134号でお知らせした台湾の新しい日本語クラブ・台北南山RCの会員一行が7月20日、台北の交流協会を訪問して、東日本大震災の義援金500万円を今井正代表に贈呈しました。

ハイライトよねやま

検索

URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

文庫通信 287号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会等の記録から

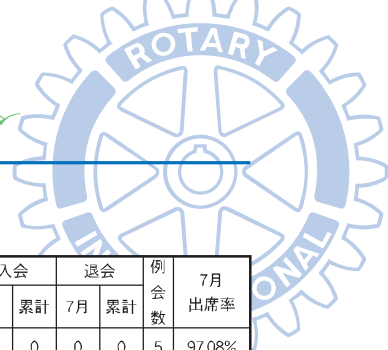
- ◎「よい生き方ができる組織の増強を/地域社会と世界平和のために『挑戦』を」
田中作次 2011 2p (D.2580/D.2770)
- ◎「RI理事会報告・財務見通し5ヵ年計画」
黒田正宏 2011 3p (第39回ロータリー研究会報告書)
- ◎「国際ロータリーの現状とこれからのロータリー」
小沢一彦 2011 3p (D.2560)
- ◎「新しい長期計画とクラブの活性化」
南園義一 2011 5p (D.2780)
- ◎「職業奉仕の原点」
深川純一 2011 3p (D.2580)
- ◎「『地域を育み、大陸をつなぐ』の実践—国際奉仕への取り組み(シンポジウム)」
塚原房樹(コーディネーター) 2011 14p (D.2510)
- ◎「元米山奨学生として」
徐重仁 2011 2P (D.2780)
- ◎「中国人から見た日本の現状」
張旭梅 [2011] 7P (D.2800)

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



会員数及び出席報告 (平成23年7月末)

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	7月 出席率
		2011年 7月1日	2011年 7/1女性	2011年 7月末日		7月	累計	7月	累計		
南 尾 張 分 区	半田	65	3	66	3	1	1	0	0	4	98.80%
	常滑	45	0	46	0	1	1	0	0	4	91.44%
	東海	49	2	53	2	4	4	0	0	4	95.06%
	東知多	23	1	23	1	0	0	0	0	4	82.31%
	半田南	43	1	44	2	1	1	0	0	4	96.52%
	知多	23	0	22	0	0	0	1	1	3	87.88%
	大府	17	2	17	2	0	0	0	0	4	85.00%
	7RC	265	9	271	10	7	7	1	1		91.00%
	西 尾 張 分 区	一宮	85	0	90	0	5	5	0	0	4
津島		73	4	73	4	1	1	1	1	4	97.70%
尾西		22	1	22	1	0	0	0	0	3	92.42%
一宮北		38	0	38	0	0	0	0	0	5	99.46%
稲沢		53	0	53	0	0	0	0	0	4	91.12%
あま		81	1	81	1	0	0	0	0	3	99.11%
名古屋清須		37	1	37	1	0	0	0	0	4	89.01%
尾張中央		32	0	33	0	1	1	0	0	4	90.61%
一宮中央		49	8	49	8	0	0	0	0	4	94.39%
9RC	470	15	476	15	7	7	1	1		94.69%	
東 尾 張 分 区	瀬戸	57	3	60	3	3	3	0	0	4	100.00%
	大山	69	0	69	0	0	0	0	0	4	89.07%
	江南	49	2	49	2	0	0	0	0	4	94.40%
	小牧	36	2	36	2	0	0	0	0	4	93.22%
	春日井	49	3	51	3	2	2	0	0	5	98.82%
	尾張旭	29	2	29	2	0	0	0	0	5	95.17%
	名古屋空港	50	1	50	1	0	0	0	0	3	98.48%
	瀬戸北	70	7	70	7	0	0	0	0	4	100.00%
	岩倉	18	2	18	2	0	0	0	0	4	91.67%
名古屋城北	32	3	32	3	0	0	0	0	4	100.00%	
愛知長久手	23	4	23	4	0	0	0	0	4	95.40%	
11RC	482	29	487	29	5	5	0	0		96.84%	
西 名 古 屋 分 区	名古屋	177	0	185	0	8	8	0	0	4	89.77%
	名古屋西	98	0	103	0	5	5	0	0	4	87.95%
	名古屋南	120	0	121	0	1	1	0	0	4	92.51%
	名古屋みなと	71	0	71	0	0	0	0	0	5	95.39%
	名古屋東南	76	9	79	9	3	3	0	0	3	85.47%
	名古屋中	129	0	130	0	1	1	0	0	3	96.91%
	名古屋瑞穂	63	0	67	0	4	4	0	0	4	98.72%
	名古屋大須	59	4	60	4	1	1	0	0	4	93.16%
	名古屋栄	81	0	81	0	0	0	0	0	3	95.03%
名古屋名南	59	6	60	6	1	1	0	0	4	96.77%	
名古屋名駅	79	6	83	6	4	4	0	0	4	98.45%	
名古屋丸の内	45	4	46	4	1	1	0	0	4	95.21%	
中部名古屋みらい	28	9	28	9	0	0	0	0	4	51.85%	
13RC	1,085	38	1,114	38	29	29	0	0		90.55%	

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	7月 出席率
		2011年 7月1日	2011年 7/1女性	2011年 7月末日		7月	累計	7月	累計		
東 名 古 屋 分 区	名古屋北	87	0	87	0	0	0	0	0	5	97.08%
	名古屋東	88	0	89	0	1	1	0	0	3	90.51%
	名古屋守山	48	3	51	3	3	3	0	0	3	90.96%
	名古屋和合	99	0	100	0	1	1	0	0	4	89.04%
	名古屋名東	58	8	59	8	1	1	0	0	4	95.06%
	名古屋名北	38	4	38	4	0	0	0	0	3	98.17%
	名古屋千種	42	3	42	3	0	0	0	0	4	96.54%
	名古屋昭和	47	0	47	0	0	0	0	0	3	83.93%
	名古屋錦	30	8	30	8	0	0	0	0	4	97.41%
名古屋東山	36	3	37	3	1	1	0	0	4	94.44%	
名古屋葵	25	0	25	0	0	0	0	0	4	85.00%	
11RC	598	29	605	29	7	7	0	0		92.56%	
東 三 河 分 区	豊橋	120	3	120	3	0	0	0	0	4	97.05%
	蒲郡	57	0	59	0	2	2	0	0	5	90.72%
	豊橋北	82	5	82	5	0	0	0	0	4	97.90%
	豊川	70	1	70	1	0	0	0	0	3	94.75%
	田原	46	2	46	2	1	1	1	1	4	86.37%
	豊橋南	62	0	62	0	0	0	0	0	3	97.51%
	新城	49	0	49	0	0	0	0	0	5	82.74%
	渥美	27	0	32	0	5	5	0	0	4	86.39%
	奥三河	16	3	16	3	0	0	0	0	4	89.29%
豊川宝飯	55	3	55	3	0	0	0	0	4	90.61%	
豊橋ゴールデン	63	0	63	0	0	0	0	0	5	93.27%	
田原パシフィック	55	1	58	2	3	3	0	0	3	88.89%	
豊橋東	40	0	40	0	0	0	0	0	3	91.47%	
13RC	742	18	752	19	11	11	1	1		91.30%	
西 三 河 分 区	岡崎	88	2	93	2	5	5	0	0	4	100.00%
	豊田	80	0	84	0	4	4	0	0	4	95.87%
	岡崎南	94	2	96	2	3	3	1	1	4	98.09%
	豊田西	101	0	101	0	0	0	0	0	3	98.26%
	岡崎東	62	0	63	0	1	1	0	0	4	93.07%
	豊田東	75	0	76	0	1	1	0	0	4	98.62%
	岡崎城南	71	0	71	0	0	0	0	0	4	92.96%
	豊田三好	20	1	21	1	1	1	0	0	3	93.65%
	豊田中	42	6	44	6	2	2	0	0	5	95.35%
9RC	633	11	649	11	17	17	1	1		96.21%	
西 三 河 分 区	刈谷	89	4	89	4	0	0	0	0	3	100.00%
	安城	53	2	56	2	3	3	0	0	4	97.26%
	西尾	76	1	76	2	1	1	1	1	4	95.37%
	碧南	69	3	70	3	1	1	0	0	4	99.60%
	一色	32	0	32	0	1	1	1	1	4	100.00%
	高浜	34	2	34	2	0	0	0	0	4	100.00%
	知立	61	0	61	0	0	0	0	0	4	100.00%
	西尾KIRARA	58	0	57	0	0	0	1	1	4	100.00%
	三河安城	62	6	62	6	0	0	0	0	4	95.92%
9RC	534	18	537	19	6	6	3	3		98.68%	

	クラブ	平均
平均出席率	82	93.98%

地区内クラブ数 82RC	2011年 7月1日会員数	4,809名	内女性 167名	増加会員数(累計)	89名
	7月末会員数	4,891名	内女性 170名	減少会員数(累計)	7名
	7月平均出席率	93.98%		差引純増会員数(累計)	82名

7月	入会	退会	純増
	89名	7名	82名



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT2760

「木陰(熱田神宮)」



熱田神宮を訪ねたのは、日差しが強い日であった。参拝者も日差しを避けて木陰に佇み立話をしている。境内は緑が多く、吹く風もこころなしか涼しく感じられた。スケッチ場所を探して参道を行くと、社が次々に現れては隠れる。描く位置が木陰になり、対象がいい姿を見せてくれる場所を見つけるのが難しい。幸いにも参道の端の木陰に、びったりの場所を見つけた。平日なのに、団体で参拝する人たちや、仲間や家族ずれの参拝者の多いのに驚いた。気持ちを落ち着かせようと冷えた水を口に含んだ。筆を運ぶ私の横を、多くの人が通り過ぎていく。そのうち足を止めて覗き込む人もいる。人々の踏む玉砂利の音がこちよく響いていた。

石原ミチオ

国際ロータリー第2760地区 2011-2012年度ガバナー事務所

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階

TEL.052-203-2760 FAX.052-253-5730

E-mail governor11-12@rotary2760.org